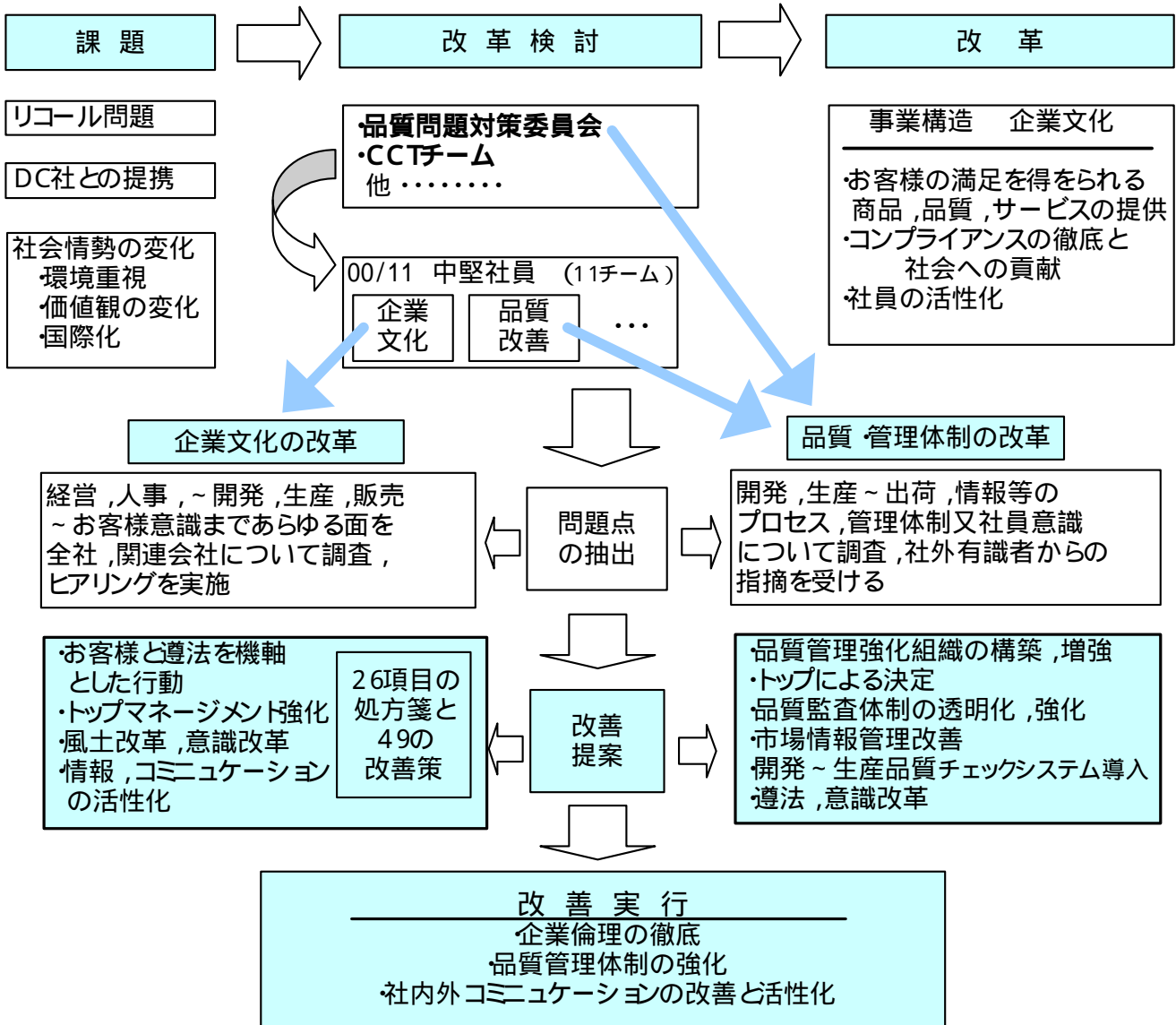


企業倫理体制と社内外とのコミュニケーションへの取り組み状況

1.初めに・・・取り組み概要



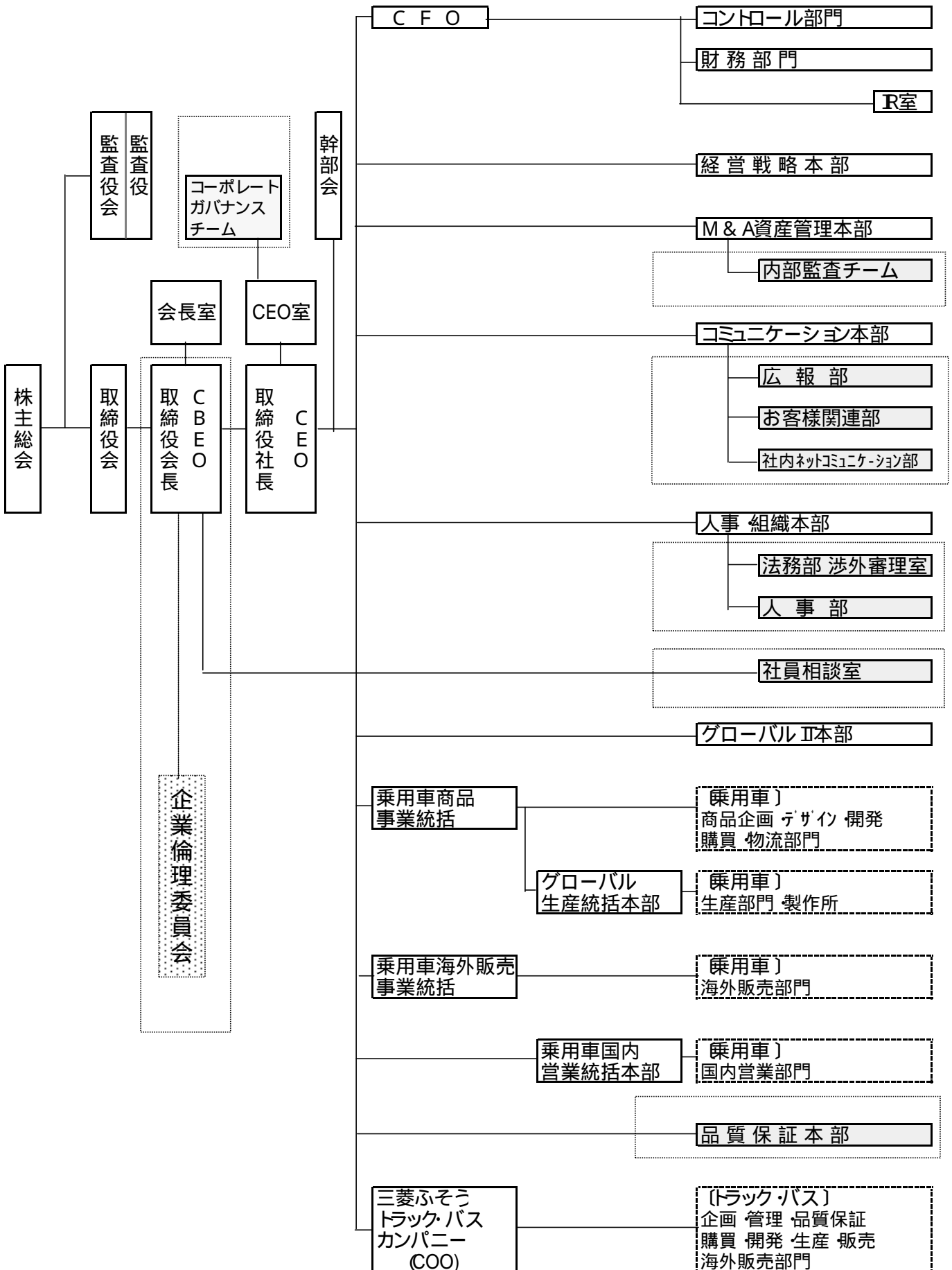
説明項目]

	ページ
1.初めに・・・取り組み概要	1
2.企業倫理体制と取り組み状況	
(1)組織概要	2
(2)品質管理体制強化状況	3
(3)企業倫理推進体制	4
(4)企業倫理情報収集状況	5
3.コミュニケーションの活性化推進状況	6
*添付：イントラHP	
4.課題と推進策(検討中)	7

2. 企業倫理体制と取り組み状況

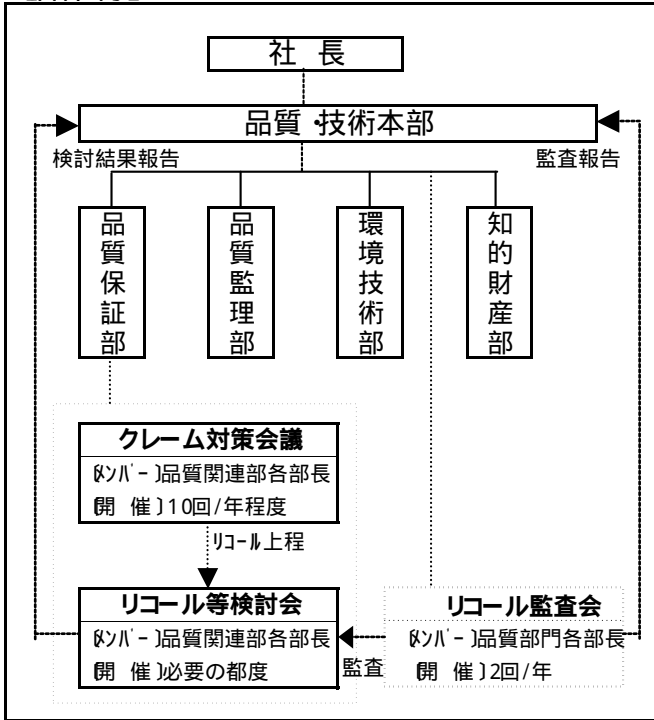
2-(1) 三菱自動車工業(株) 組織概要

□ ... 企業倫理関連職制



2 - (2)品質管理体制強化状況

【旧体制】



【体制整備の状況】

00/9月、社外有識者を含む「品質諮問委員会」を設置。品質問題対策委員会での改善策を諮問委員会に諮り次の体制整備を行った。

(1)00/11月、品質保証本部を設置

技術管理・環境部門を分離し、品質保証業務に専念する体制

(2)品質監査体制の強化

00/11月、品質監査委員会を設置(02/6月 幹部会に統合)
リコール監査会の強化

品質部門から独立。中立的なメンバーで構成し、開催数を増加
監査結果を幹部会に報告

(経営トップおよび品質部門以外の幹部の関与)

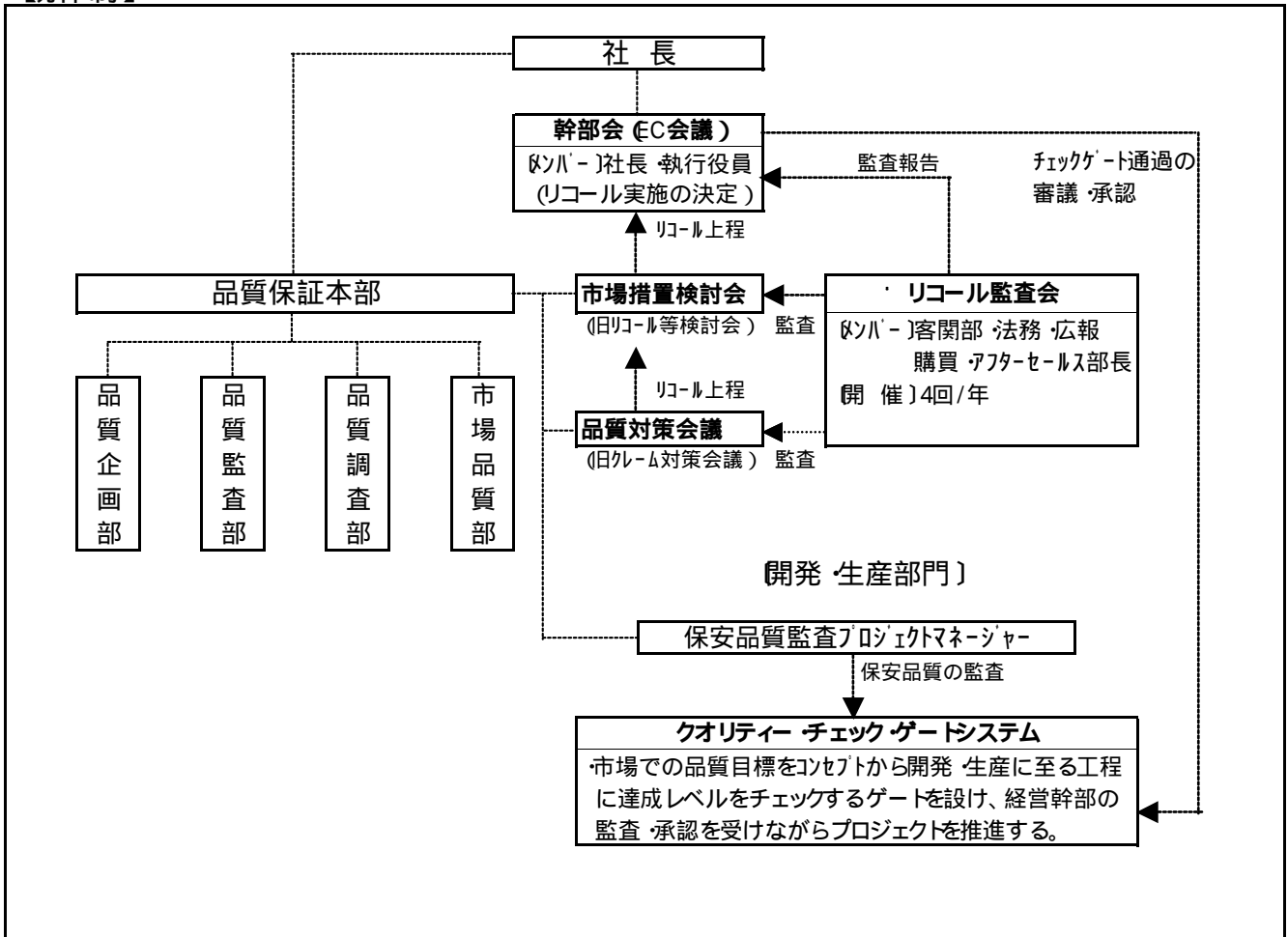
品質対策会議および市場措置検討会の主催者を部長から本部長にランクアップ

(3)開発～生産工程における品質管理の強化

00/12月、品質管理システム「クオリティー・チェック・ゲート」を新規導入

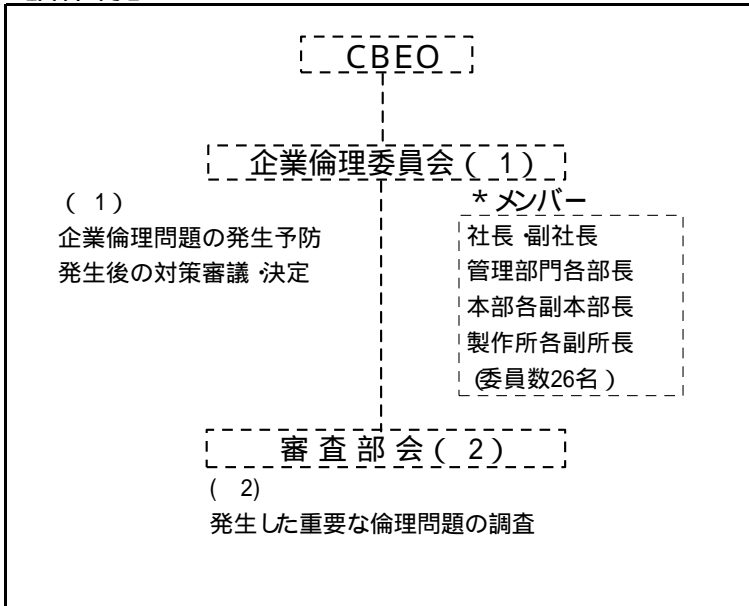
00/11月、同システムの各ゲートで保安品質が確保されているかを監査するプロジェクトマネージャーを設置

【現体制】



2 - (3) 企業倫理推進体制

【旧体制】



【体制整備の状況】

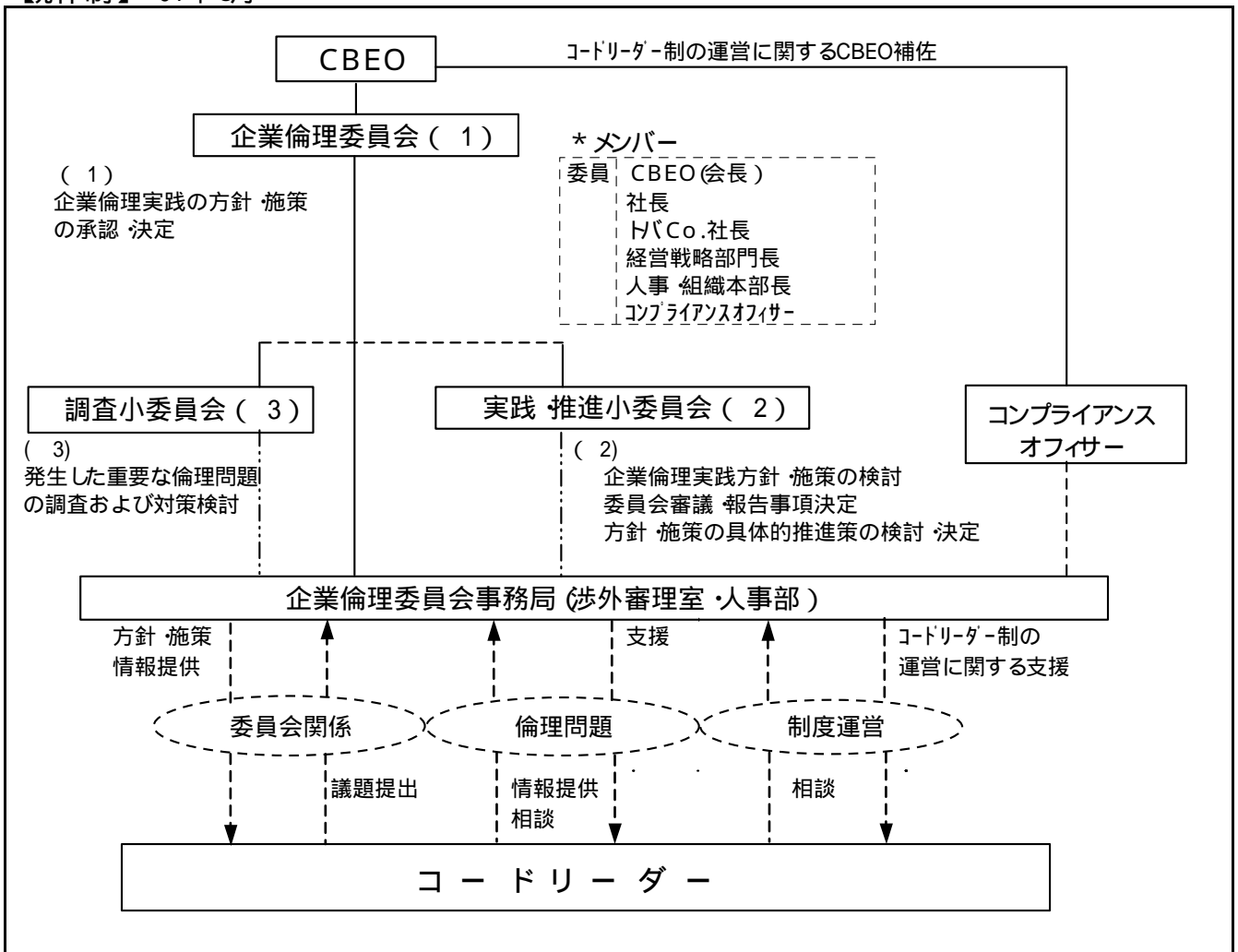
- (1)97/11月、企業倫理担当役員 (CCEO)を選任
- (2)98/1月、企業倫理委員会を設置
- (3)98/8月、企業倫理委員会審査部会を設置
- (4)99/3月、企業倫理行動基準を制定



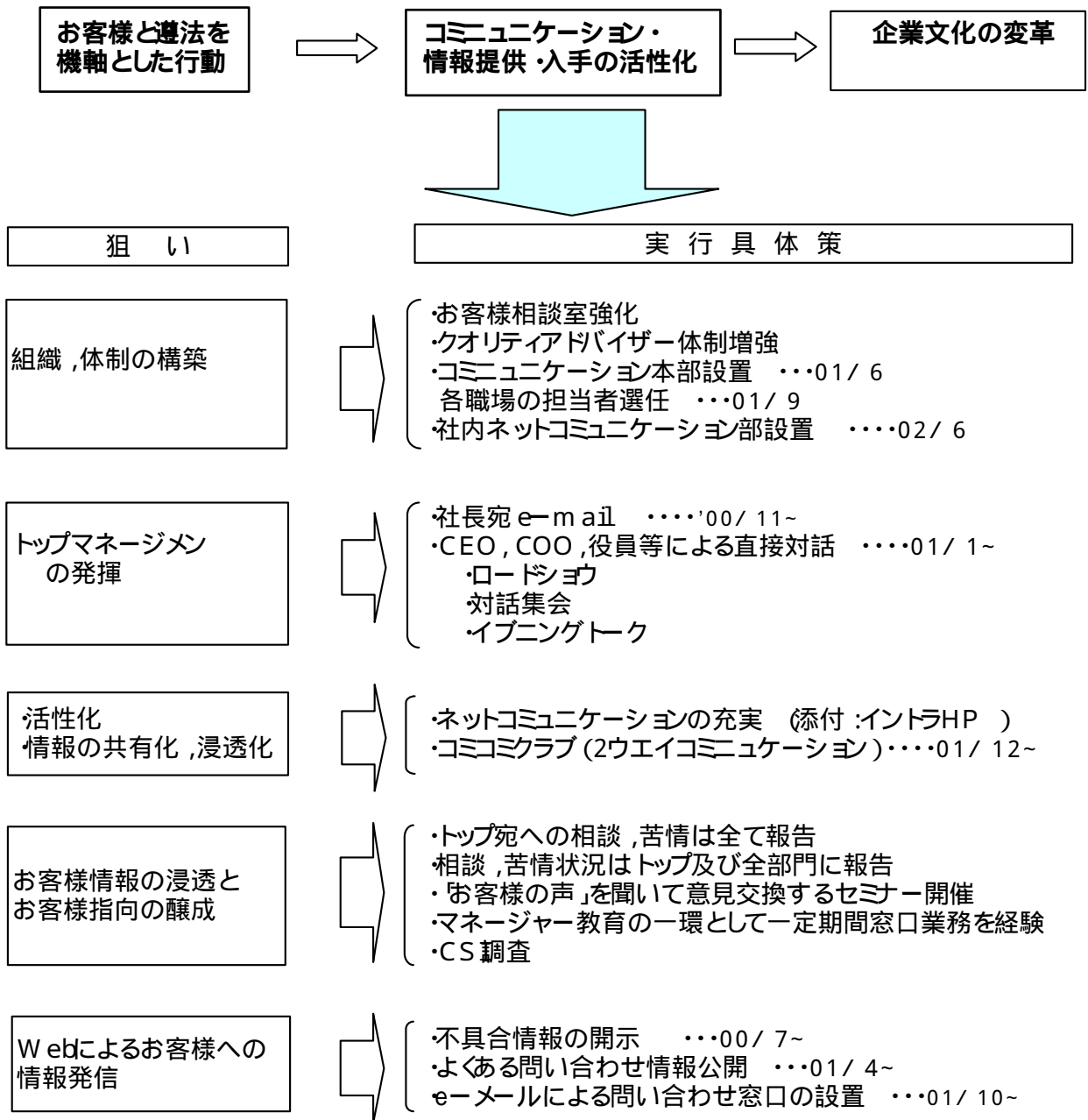
- (1)01/8月、企業倫理委員会を改組
- (2)01/10月、企業倫理行動基準を改訂
お客様、社会との良好なコミュニケーション、情報開示
社会人マナーの遵守等の項目を追加改訂
- (3)01/12月、全社各部門にコードリーダーを選任



【現体制】 01年8月～



3.コミュニケーションの活性化推進状況



対話集会

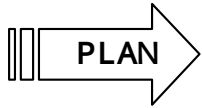


コミコミクラブ

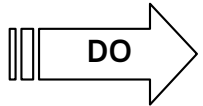


4.課題と今後の検討推進策

1.課題 (今までの取り組みで更に感じていること)



基本は、トップ、役員が認識し関与していること
経営ビジョンとして明示され、具体的に施策が展開されてることが必要
社員が常に意識し、共通の認識を持つ



徹底実行は、マネージメントでなされる
委員会、規則等は責任と権限が明確であり、常に機能しなくてはならない
権限委譲、国際化等によりリスクは広がっていく。
これを回避するためにも組織、制度を設けるが、問題は日常、実務で発生する
言い換えれば、委員会、規範、制度を構築し統制し警告しても徹底は出来ない



ウォッチ、チェック、改善が日常的になされてることが必要



コミュニケーションが社全体で闊達に行われていること
オープンで透明性ある企業文化形成されていることが必要
失敗や問題点が言える文化

2.今後の推進事項 (検討中)

(1)マネージメント,日常での徹底

- a.オープンで何でも物が言える,聞く,企業文化作りの推進
・更なるコミュニケーションの闊達化
・コードリーダーの活用
- b.マネージメント力の向上教育
・耳を傾ける力,客観的に思考,判断出来る力の育成
・階層,開催頻度の拡大
- c.日常意識向上,自己啓発
・e-ラーニング
・イントラ活用

(2)体制,制度の見直し強化

- a.委員会組織の機能,陣容見直し
- b.倫理ブックの見直し
- c.情報報告ルートの整備及び制度の見直し検討
- d.内部監視システムの構築とチェック改善システムの定例化推進
- e.処罰基準,審議機関の見直し検討
- f.ユーザー情報の社内徹底,共有化の更なる推進

3.自主行動基準の指針・・・中間報告について

自工会にて検討中